



令和2年度 学校だより

# はがきた

第4号 令和2年7月3日

## 教育目標

集中して学び、生命と人権を守り、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育成する。  
『学ぶ子 守る子 がんばる子』

## 夏の暑さはみんなの活力！

7月に入り、梅雨のジメジメとともに、夏本番が近づいてきました。保護者の皆様には御健勝のことと思います。例年、この時季になると「もうすぐ夏休みだね」というような話が聞こえてくる頃ですが、今年は1学期が7月31日までですので、まだもうちょっとあるなあという感じでしょうか。暑くてジメジメしているし、新型コロナウイルスもまだ心配だし、憂鬱になってしまうかもしれません。でも、子どもたちは元気です。夏の暑さも活力になっているかのようです。そういう姿を、とてもうれしく、とてもたくましく思っています。子どもたちの元気な姿は、大人にも元気を与えてくれます。今月7日には「小暑（しょうしょ）」、23日には「大暑（たいしょ）」を迎えます。夏の暑さが本格的になってくる時季ですが、暑さに負けずに、子どもたちと元気にこの夏を乗り切りましょう。



## ちょっと待って!! もう一度**注意!!!**



通常登校が始まって1か月が経ちました。お子様の様子はいかがでしょうか。いつも元気に活動している姿を見てたいへんうれしく思っています。今、社会では県外への移動を含め、ほとんどの制限が解除されました。通常の日々が戻ってきつつあり、うれしく感じますね。でもちょっと心配していることがあります。それは、何と云っても、新型コロナウイルス感染症です。学校が再開した頃は、みんながよく意識してくれました。1人の感染者も出していないこの現状は、

大変すばらしいと思っています。しかし、そのことが少し気の緩みにつながっているように感じるのです。仲良く元気に教え合い、励まし合う。いつもだったら何も言うことなく喜ばしい光景です。でもちょっと待って!! そのときに密になっていませんか? 教え合うことや励まし合うこと自体は大変よいことです。でも、手洗い、消毒、距離をとるといった、「新しい生活様式」をもう一度意識してほしいのです。学校での今後の生活はもちろん、他の行事もいろいろな制限が必要となります。運動会や宿泊学習、修学旅行や遠足も対策を考えなければなりません。この生活をもっともっと続けるために、不自由でも「新しい生活様式」を意識して生活していかなければならないのです。まず、自分でできる手洗いだけでも徹底してやってみませんか。御理解、御協力よろしくお願いいたします。



### ★7月の主な行事予定★

- 1日 (水) 交通安全教室
- 3日 (金) 生き物調査(5年)
- 6日 (月) 個人懇談(~7/22)  
巡回相談
- 8日 (水) 歯科検診
- 10日 (金) 児童生徒  
健全育成懇談会
- 13日 (月) 巡回相談
- 15日 (水) クラブ



- 16日 (木) 心臓検診(1,4年)
- 29日 (水) 保護者会  
授業参観  
PTA学年部会  
各委員会
- 31日 (金) 終業式

# 梅雨空ですが私たちは元気です！

★児童たちの活躍の様子★  
【薬物乱用防止教室(6年)】



【町探険(2年)】



【研究授業3-2】



【交通安全教室】



## 紫陽花 (あじさい)

梅雨の時季、雨の中にも美しい紫陽花の花が見頃となりました。雨の日が多く、ともすると、憂鬱な時季と感じてしまう梅雨の時季、雨の似合う花、紫陽花は心を癒やしてくれますね。もともと紫陽花は日本固有の植物で、オランダ人シーボルトが海外に紹介し、品種改良され、日本に逆輸入されたのが西洋アジサイだそうです。昔、日本では、『集真藍(あずさあい)』という名前が、これが『あじさい』に変化し、やがて白居易(中国唐時代の詩人)の詩から『紫陽花』ということばが当てられたそうです。また、花の色の变化から、『七変化(しちへんげ)』という別名もあるそうです。では、その花の色は、なぜそんなに変わるのでしょうか。紫陽花の色はもともと決まっているわけではなく、土壌のアルミニウムイオンが影響しているそうです。水に溶解するとアルミニウムイオンになるアルミニウムは、酸性の土では溶けやすく、アルカリ性の土では溶けにくくなります。そのために、酸性の土壌では青色系の花に、アルカリ性の土壌では赤色系の花になるということです。日本は火山地帯で雨も多く弱酸性なので、青系が主流です。青色は、日本ならではの美しさと言えます。その花、その鳥、その人なりの個性に目を向けてみるのはとても素晴らしく感じますね。



ところで、「美しい花にはトゲがある」とは、バラの花に対して言われることばですが、まさに紫陽花にも当てはまります。紫陽花の場合には、葉に毒があるそうです。青酸性の毒なので、絶対に食べてはいけません。

この時季、いろいろなところで紫陽花祭りが行われます。外出の方も自粛していたかと思えます。折角なので、感染症予防をしっかりと行い、紫陽花を見に行き、心を癒やしてみてもいいのではないでしょうか。そのときにでもこの話をネタにしてみてください。(写真は北小のもので)